



# ロータリーの風

国際ロータリー第 2570 地区 第 4 グループ  
皆野・長瀬ロータリークラブ

平成 25 年 6 月 6 日

第 8 号

## 吉田地区で親睦夜間例会 日本舞踊観賞会

平成 25 年 3 月 28 日 (木)、民宿「白砂荘」(旧吉田町)において、親睦夜間例会を開催しました。公式の例会は会長あいさつと幹事報告だけで短時間に終了。宴会の部が、新井剛太郎会員の乾杯の音頭ではじまりました。

宴会の中心は、昨年を引き続いて日本舞踊の観賞会。日本舞踊千代珠会は、高田会員が後援会長をしていることから、毎回快く出演していただいています。4 名の方にそれぞれ踊って頂き、その後、千代珠会専属の栄扇音頭に合わせ出演者揃っての踊りでした。最後に、会員と出演者とで記念撮影。



日本舞踊の観賞会は会員の間で好評です。今後も恒例になりそうな雰囲気です。また、いつもは出席が少ない吉田地区の会員のご家族にも今回は出席して頂くことができ、会場をここに移したことも成功でした。



## 児玉 RC と皆野長瀬 RC との 合同例会

4 月 12 日 (金)、お食事処「桜」(本庄市児玉町)において、児玉ロータリークラブの主催で児玉ロータリークラブと皆野長瀬ロータリークラブの合同例会が開催されました。今回、当クラブから会員と家族 10 名が出席しました。

今年は桜の開花が当初の予想より早まり、桜並木はすっかり葉桜になっていました。以前の例会で見





せて頂いた児玉の桜を思い出しながら、花見気分で例会に出席しました。宴会の部では、恒例のカラオケ競演により賑やかで楽しい時間を過ごすことができました。

締め挨拶で児玉ロータリークラブの春山様（ガバナー補佐経験者）から当クラブの宮前英雄会員をガバナー補佐に推薦する強い意見表明がありました。会員一同が心に留めた嬉しい言葉でした。皆野長瀬ロータリークラブで開催する、秋の合同例会で再会する約束をしてお開きとなりました。

## 地区大会

4月20日（土）ホテルガーデンパレス熊谷（熊谷市）において、続いて21日（日）クレアこうのす（鴻巣市）において、国際ロータリー第2570地区の地区大会が開催されました。初日は、地区内全



クラブの会長・幹事と地区役員が一堂に会して指導者育成セミナーを受講、その後、RI 会長代理歓迎晩餐会。二日目は、吉村作治氏（早稲田大学名誉教授）の記念講演を挟んで、各種表彰、各種委員会報告、地区大会記念事業（埼玉県緑のトラスト基金への寄付と鴻巣市への寄付）等の議案決議、地区内クラブの紹介など、賑やかな祭典となりました。

## ロータリー財団

ロータリークラブの発足12年後の1917年、アーチ・クランフ RI（国際ロータリー）会長が、財団の前身となる基金を提唱。その趣旨は” **Doing good in the world**” でした。また1920年、日本最初のロータリークラブが誕生しました。

1947年、ロータリークラブ創立の立役者ポール・ハリスが逝去。ポール・ハリスを記念して、ロータリー財団奨学制度が始まりました。1950年、日本から第1期財団親善奨学生を送り出しました。元国連難民高等弁務官の緒方貞子氏は、第2期生です。

ロータリー財団（TRF：The Rotary Foundation）の使命は、ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。具体的には、RI 理事会と R 財団管理委員会が、ポリオプラスプログラムを完遂することによりポリオ撲滅の目標を達成し、友好と理解を助長する教育的及び文化的プログラムを協調し充実させ、世界のあらゆる地域において人道的ニーズを満たすため補助金を支給し、人々の間の平和な関係を深めるためにプログラムを拡大することです。

ロータリー財団は非営利財団で、ロータリアンをはじめ、より良い世界を築こうというビジョンを共有する財団支援者の方々からの自発的な寄付のみによって支えられています。この寄付がロータリー財団の補助金となり、助けを必要とする地域社会に持続可能な変化をもたらす活動に役立てられています。

国際ロータリー第2570地区 第4グループ

皆野・長瀬ロータリークラブ

〒369-1305 秩父郡長瀬町長瀬 1446 養浩亭内

例会日：毎木曜日 12:30～13:30

例会場：長瀬レクリエーションホテル養浩亭

Tel&Fax:0494-66-4134

E-Mail:minanaga@chichibu.ne.jp

区域限界：皆野町、長瀬町、秩父市吉田・黒谷・太田